

平成27年度第2回徳島県地域医療総合対策協議会【議事録】

【開催要領】

- 1 日時 平成28年3月28日（月） 午後7時～午後7時30分
 - 2 場所 徳島グランヴィリオホテル
 - 3 参加者 委員29名のうち22名出席
-

【会議次第】

- 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 地域医療介護総合確保基金にかかる国への平成28年度配分要望額（医療分）の概要について
 - (2) 徳島県へき地保健医療計画の進捗状況について
 - (3) その他
 - 3 閉会
-

【議事概要】

■議事（1）地域医療介護総合確保基金にかかる国への平成28年度配分要望額（医療分）の概要について

資料1

○県医療政策課地域医療・鳴門病院担当が説明。

■議事（2）徳島県へき地保健医療計画の進捗状況について

資料2・3

○県医療政策課地域医療・鳴門病院担当が説明。

【委員】 遠隔画像診断システムの件数は分かるか。

【事務局】 平成27年度については約8,000件の遠隔診断を見込んでいる。

■議事（3）その他

資料4 徳島県地域医療再生基金執行状況について

○県医療政策課医療戦略推進室長が説明。

【委員】 地域枠の学生について、卒後の就労場所は県立病院に限定されているのか。就労する医療機関の拡大を検討してもらえるか。

【事務局】 地域枠の仕組みとして、6年目までに3群病院に1年間勤務し、9年間修了するまでに更に2年間勤務ということで、かなりの数の医師を養成してきたこともあり、今後配置が集中してくる場面も考えられる。課題としては認識しており、今後状況に応じて新たな配置先などの検討を加えていきたい。

【委員】 阿南医療センターへの補助対象額は。

【事務局】 対象事業費は96億3千万円で、その1/3を目安に補助する。実際の補助金額については、国に要望して基金の配分が来てから調整が必要となるので、数字ありきになってはいけませんが、平成28年度は約10億円を補助予定。

【委員】 病床機能の見直しを進めており、急性期病床の一部を地域包括ケアの形に転換する予定である。

【事務局】 病床機能の転換については、地域医療構想調整会議においてどの病院にどの機能を担っていただくかを調整していく仕組みとなっている。回復期については全ての圏域で増床が必要。現状では転換については厚生支局に届け出させていただき、その部分については医療政策課で関与出来る部分はないが、今後は地域医療構想の中で議論し、調整させていただくという局面になっていくと認識している。

――了――